

RNN 通信

RNN 海外在住メンバーを通じた ネパールの学校改築支援のお願い 2

各位

この度は、6月19日に続いて同様のお願いを申し上げます。

標題の支援について、7月24日の定例会議までに2団体より¥302,785をいただき、現地カウンターパートのサンガラトナ法天マナケ委員（インド在住でRNN創設以来のメンバー、パンニャ・メッタ・サンガ[PMS]会長）に定例会議の際、直接寄託しました。学校改築には約60万円が見込まれていることから、もう半額が不足しておりますので、改めて皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げる次第です。

（ネパール学校改築支援の趣旨）

パンニャ・メッタ・サンガ(PMS)では、5月にインドから陸路(往復4500km)現地入りして食料品、テント、衣類、文具等を第一次支援として運び、多くの場所を視察しました。PMSは、首都カトマンズの北60キロに位置するシンドパルチョーク郡ボステイパ村を中心に支援活動を展開しており、家屋はもとより生活物資全般、寺院や学校といった心の拠り所、人間形成の場も失っています。もともと最貧困地域で、学校でさえ何年もかけてようやく完成させたものであり、その再建や修理はとてむすぐにできるような状態ではありません。

PMSの活動理念は、人を育てることであり、そのために必要な教育を提供しています。大地震により8,000以上の学校が倒壊し、その他多くの学校も亀裂が入るなどして使用できない状態にあるため、10万人近い学生が通学できず、教育から遠ざかっています。PMSとして、1校でも多くの学校を建て直す、もしくは改築して一日も早く学生たちに教育環境を提供したいと考えています。

そこで、現地のマンジュシャ学校の改築支援をお願い申し上げます。この学校はサッレリ町近郊のルラ村にあり、近隣5つの村から約100人の生徒が通学し、1年生から5年生までを教育する学校で、その改築に約60万円を見込んでいます。

このようなネパールの現状や、学校の建設活動が明日のネパールを担う若人育成の大切な場となっていることをご理解いただき、ご支援をお願い申し上げます。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はRNNが責任をもってPMSに寄託します。ご協力に際しては、通信欄に「ネパール学校改築」とご明記下さい。

以上

RNN郵便振替口座

加入者名： RNN

口座番号： 01310-9-63933